

さくら・さくら

ニュースレター

深沢・桜新町 さくら フォーラム

〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-19-6
フェリックス気付

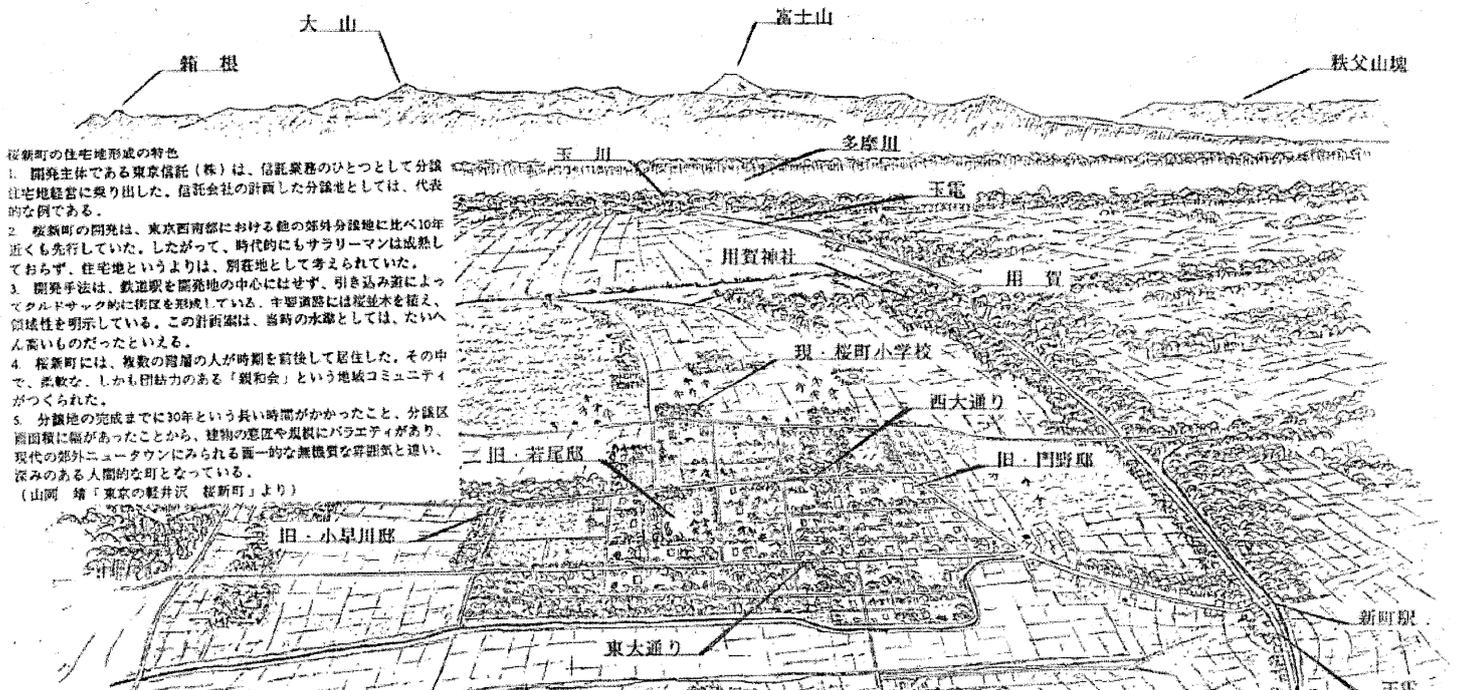
No.13 2013年10月

深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの啓発活動に取り組む市民団体です。

2面～3面 昭和10年代までの街の様子 4面 深沢・桜新町開発100周年記念のつどいのお知らせ・会の紹介ほか

<http://sakura-forum.jimdo.com/>

1913(大正2)年に東京信託(株)が新町住宅地(約23ha)の分譲を開始しました
ことは、この深沢・桜新町開発100周年にあたります
今号では、100年の最初の1/3-終戦(1945年)頃までの新町住宅地の姿をご紹介します



桜新町の住宅地形成の特色

1. 開発主体である東京信託(株)は、信託業務のひとつとして分譲住宅地経営に乗り出した。信託会社の計画した分譲地としては、代表的な例である。
2. 桜新町の開発は、東京西南部における他の郊外分譲地に比べ10年近くも先行していた。したがって、時代的にもサラリーマンは成熟しておらず、住宅地というよりは、別荘地として考えられていた。
3. 開発手法は、鉄道駅を開発地の中心にはせず、引き込み道によってゴールドサック的に街区を形成している。主要道路には庇並木を植え、領域性を明示している。この計画案は、当時の水準としては、たいへん高いものだったといえる。
4. 桜新町には、複数の階層の人が時期を前後して居住した。その中で、柔軟な、しかも団結力のある「親和会」という地域コミュニティがつけられた。
5. 分譲地の完成までに30年という長い時間がかかったこと、分譲区画面積に幅があったことから、建物の意匠や規模にバラエティがあり、現代の郊外ニュータウンにみられる画一的な無機質な群居型と違い、深みのある人間的な町となっている。

(山岡靖「東京の軽井沢 桜新町」より)

図-1 景観印象図 信託会社宅地*1 一帯 (昭和初年頃) 荒木進作図 (一部添付図削除)

左に添付された文章は、「桜新町の住宅地形成の特色」(山岡靖 「東京の軽井沢 桜新町」*2 より)

「私の一家がこの深沢の地に移り住んだのは、大正10(1921)年3月下旬、父が岡山県庁から東京市役所に転任したので、市川さん(中略)の別荘を借り、後に譲り受け居ついてしまったのである。母と子供たち4人が始(原文のまま)めて新町停留所に降りたのは、よく晴れた日の午後で、駅前から道の右側にずっと続く雑木林を、関東に独特の早春の冷たい風が吹き抜けていた。

その年の4月1日、私は駒沢小学校深沢分教場*3に入学した。」

(「昔思い起すまま 桜新町深沢あたり」荒木進、平成元(1989)年3月から)

上図の中央下の住宅がまとまった所が新町住宅地です。荒木さん*4のご自宅は、図に示された現・桜町小学校の位置から少し下にありました。「我が家周辺」は、「大正時代から終戦(1945年)頃まで大きな変化はなかった。」とも書かれています。

*1 新町住宅地は、信託会社住宅と呼ばれていた。 *3 現在の深沢小学校(2面の図-3参照)

*2 「郊外住宅地の系譜 東京の田園ユートピア」 *4 2008年3月逝去

(山口廣編、鹿島出版会、1987年)に収録

深沢・桜新町さくらフォーラムから

●「深沢・桜新町開発100周年 記念のつどい」開催(入場無料・申し込み不要)

日 時 11月24日(日)午後2時～4時(予定)

場 所 桜新町区民集会所大会議室 サザエさん通り交番奥

第1部 スライドで見る100年

第2部 トークイベント みんなで語ろう!これからの深沢・桜新町
ぜひ、ご参加ください。

○活動カレンダー

8.21(水)	8月定例会開催
9.18(水)	9月定例会開催
10.16(水)	10月定例会開催
11.20(水)	11月定例会開催予定
11.24(日)	100年記念の集い予定
12.18(水)	12月定例会開催予定

○絵葉書を販売中

新町住宅地の以下の絵はがきを作成しました。
1枚100円で販売しています。

- ・絵葉書2葉を復刻
(発行年不詳 本号紹介の図-8、図-9を含む)
- ・1936(昭和11)年頃撮影の当地の航空写真(本号紹介の図-10)

○会員募集中

- ・世田谷区の地域風景資産に選定された「旧・新町住宅地の桜並木」と「呑川親水公園」の桜並木を核にした風景づくりの啓発活動に取り組むことを活動の主な目的とする市民団体です。
- ・発足以来、試行錯誤しつつ5年半を経た今、初心に戻って活動の再構築を図ろうとしております。
この地域の景観・環境・みどりなどについて、関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。
お問い合わせ、ご参加申し込みは、下記の発行元(稲垣まで)にお願いします。

○ホームページの魅力アップやSNSの活用などにご協力いただける方もぜひ、ご連絡ください

写真・資料等ご提供いただける方、お話を聞かせいただける方もお知らせください。

○編集・執筆担当から

(稲垣道子・山岡靖協力)

- お詫びと訂正：ニュースレター12号に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

	誤	正
ニュースレター12号1面	玉川電車(注:1937(明治40)年に開通…)	1907
〃	経営地図、左下の実測面積 約234,700㎡	234,800㎡

- 今号掲載の図の出典:

図-1	荒木進さん作成(図左の文章の添付共)	荒木進さんから入手された山岡靖さん所蔵
図-2	世田ヶ谷 二万分一地形図	明治42年測図、大正2年7月発行
図-3	世田谷近・現代史 (「世田谷区まちなみ形成史」に再録されたもの)	世田谷区、昭和51年9月
図-4	昭和4年(1929年)、碑文谷は昭和5年修正	大日本帝国陸地測量部
図-5	昭和12年(1937年)	1/10000の二子と碑文谷を合成
図-6	新町郊外生活(販売パンフレット)	東京信託(株)、大正2年4月
図-7	〃	〃
図-8	絵葉書の一部	発行年不詳
図-9	〃	〃
図-10	航空写真	裏面に昭和11年8月との書き込みあり
図-11	新町郊外生活(販売パンフレット)	東京信託(株)、大正2年4月

発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>

〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付

電話 03(3702)3274 FAX 03(3702)3219